

# おでかけだより

新春号 NO. 56

2018年1月1日



発行：NPO法人『おでかけサービス杉並』 発行責任者：樋口 蓉子  
〒167-0051 杉並区荻窪5-18-11サニーシティ荻窪103  
TEL 03-6425-8584 FAX 03-5397-1755  
<http://www7b.biglobe.ne.jp/~npo-odekake/>



## 新年おめでとうございます

理事長 樋口 蓉子

皆様には、お健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

おでかけサービス杉並も2005年2月の事業開始以来12年が経過し、皆様のご支援をいただきながら、“誰もが暮らしやすいまち”をめざして活動しております。

昨年は、おでかけサービス杉並全体としてもとても忙しく活発に活動した1年でありました。私たちは地域や生活の中にある課題を、自分たちが参加して解決していこうと考えています。移動サービスから始まった私たちの活動ですが、この12年間の間に、以下にあるように活動の幅を拡げてきました。一つ一つの活動をそれぞれのメンバーが責任を持って進めるとともに、それぞれが関係するところでは連携を持ってより豊かな活動へと展開してきました。

今、国・自治体は、これまで提唱してきた「地域包括ケアシステム」の深化・推進として「地域共生社会」の実現を進めようとしています。「地域共生社会」とは、複雑に問題が絡み合っている現代社会にあって、これからは制度・分野ごとの縦割りや支え手・受け手という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながる社会を指しています。

制度の下に行われるフォーマルサービスとともに、地域に暮らす私たちができることを互いに協力しながら、主体的に行動していくことが求められています。この12年間に私たちがつくりあげてきた様々な活動・事業を組み合わせ、地域にある機関や団体との連携を図り、市民の主体性を生かしながら、本年も活動を続けていきたいと思っております。

本年もメンバー一同、これまで以上に一層の努力をしてみたいと思いますので、どうぞ皆様の変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、この一年が皆様にとりまして佳き年となりますよう、心より祈念申し上げます。

2018年の抱負

移動サービス



理事 島津 俊男

昨年は、大きな事故もなく無事に一年を終えることができました。また、毎月の運行回数が平均450回を超え今年度の目標である5300回を達成できそうです。

おでかけサービスが地域の高齢者や障がい者の方々の移動手段として、そのニーズに確実に応えつつ、ますますお役に立てていることを嬉しく思います。

今年の抱負としては、日頃から安全・安心・快適な運転に心掛けていますが、何といたっても「安全」が最優先ですので、今一度気を引き締めて取り組んでいきます。

「安心」「快適」な運転については運転協力員講習会等を通してさらにレベルアップをはかっていきたいと思っております。

また、運転協力員が楽しく喜んでこの活動に参加できるよう、横のつながりも大切にしていきたいと思っております。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。



## ゆうゆう桃井館



理事 竹永 信子

これまでゆうゆう桃井館では活動方針として ①食でつながるご近所ふれあいの場をつくる ②多世代交流を図る ③地域にある人材の活躍の場を提供する ④地域の連携を推進する、の4つの柱を立てて様々な事業を行ってきました。特に①の食に関する事業は、他のゆうゆう館にはあまりない調理室を活用して、高齢者のための昼食会や、多世代に向け毎回趣向を変えた料理教室などを開催してきました。そしてこれらの事業を通して改めて、食べることの大切さはもちろん、仲間で食事をつくることや一緒に食べることの楽しさも実感してきました。

今年はこれらの経験をもとにして、地域ぐるみの食事会の開催を計画しています。町会、ケア24、民生委員の皆さんなどの手をお借りし、地域の人たちに呼びかけて、子どもから高齢者まで気軽に集まっておいしく楽しく食事をする、そんな会をめざします。皆さまのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



理事 高橋 千佳子

## ゆうゆう善福寺館

ゆうゆう館運營業務を区から受託して今年の3月で丸6年が過ぎます。利用者の皆さまのご理解に支えられ、毎年少しずつ前進しています。これまでの大きな変化と申しますと、まず、地域人材がとても豊かで快く講師をお引き受けくださるので、受講者にもとても喜ばれています。更には、善福寺保育園・桃井第四小学校の皆さんとも高齢者が関わり、良き関係を築いています。団体利用の皆さんも、仲間を増やすべくお声かけが盛んで、徐々にメンバーの増強につながっています。素晴らしいエネルギーだと感じています。今年も私たちスタッフは、『歩いて行けるTHE HALL 善福寺』構想を持って取り組んでいます。生の演奏やシネマの上映をより身近にご提供できるよう努力してまいります。地域の中の「ほっと心寄せあえる空間」創りをスタッフ一同が力を合わせて進めてまいります。2018年度も皆さまのお力を糧に笑顔と笑い声溢れるゆうゆう館をめざして行きたいと思っております。

# 2018年の抱負

今年もよろしく  
お願いいたします

## NEKO (ネコ) の手サポート



理事 野口 恭子

今年度は9月に行った「地域ささえあいサポーター育成講座」で新たなサポーターが5名増えました。その後も現サポーターの紹介で新たに1名登録があり、担う側の態勢が更に整ってきました。本人や家族、ケアマネジャーなどからのサポートの問い合わせも数多く寄せられ、前年度の同時期と比べると、新たな利用者が10名増え、依頼内容も多様化してきています。新しい年の抱負としては、コーディネーターとしてのスキルを高め、問い合わせをいただいてからサポート実施までの時間をもう少し短縮し、より多くの方のサポートができたと思っています。また、どうしても活動が孤独化してしまうサポーター同士の交流や、情報交換の場を設けたり、サポート力を高める研修なども行いたいです。『(N) なんでも (E) 遠慮なく (K) 困ったときの (O) お手伝い』ネコの手サポートを介して人と人を繋げ、将来は“私”もささえてもらえるよう、頑張ります！

## オープンリビング けやきの見える家



運営スタッフ 佐々木 庸子

本年もおしゃべりを楽しむ場に！

けやきの見える家は3年が経過し、西荻で誰もが集う場所として定着してきました。ミニコンサートや地域の人のお話がある日は賑わいますが、ゲストのない日でも、折り紙をしたり、植物図鑑を見ながら話が弾んだり、カードゲームに興じたりして楽しく過ごしています。木曜日の午後に毎週開いていること、手作りのおやつがでることが特徴です。地方から子ども世帯の近くに引っ越してきたという人も多く、知り合いが少ないからけやきの家で友達ができてうれしいという感想もありました。また、昔の知り合いや、子どもが学校の同級生だったという人の再会劇があったりして、歓声があがることもあります。そしてケア24善福寺のスタッフが隔週一緒にすごしたり、保健師さんが月1回同席しますので、ちょっとした相談ごとをする場にもなっています。今年も毎週木曜日の午後はけやきの見える家でお待ちしています。